

CASBEE® 広島

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	YMFGオールヘルスケアタウン(仮称)	階数	地上4F
建設地	広島県広島市南区向洋駅周辺青崎	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,100 時間/年(想定値)
建物用途	飲食店、病院、工場、等	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2021年12月25日
敷地面積	779 m ²	作成者	杉原喬之
建築面積	553 m ²	確認日	
延床面積	2,094 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 94%
③上記+②以外の 94%
④上記+ 94%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.6

LR のスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 2.6

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 2.8	スコア = 1.8	スコア = 3.2
<p>設計の計画し特段に配慮した事項 // BEIm = 0.79 // 節水便器を採用している。</p> <p>鉄骨造でありLGSを利用しているため仕上げ材と躯体の分別が容易である。また、再利用可能なユニット部材であるOAフロアを採用している。// BEIm = 0.93により 換算スコア = 3.2</p>	<p>設計の計画し特段に配慮した事項 /</p>	<p>設計の計画し特段に配慮した事項 タイルカーペットやビニル床、ビニルクロスなど、耐用年数20年以上の内装材を採用している。</p> <p>主要な用途上位3種の2種以上にB以上を使用し、Eは不使用としている。/</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される